

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ハヤマ信仰 (火つるぎ)		
伝承地域	飯館村大倉		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>福島県内にはハヤマと呼ばれる秀麗な山が点在し、豊作に祈る信仰がある。ハヤマは阿武隈山地に多く分布し、羽山、葉山、端山、麓山などの字をあて、奥山に対する端山の意である。信仰の対象は山そのもので、古態を保つものには社殿はない。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>ノリワラ (宣童) にハヤマの神がつくと、次に「火つるぎ」の許しをノリワラに乞う。ノリワラの許可が出ると、境内に青竹を四方に立て注連を張った中に置かれた数束の薪に、籠もり人の手によって火がつけられる。ノリワラは、堂内から兎跳びのような格好で外に出る。まず、籠もり人によって塩が撒かれ、場が清められる。僧侶が先導して新藁が敷かれてある火の周りをゆっくり回る。火勢がやや下火になると、ノリワラが幣を頭上に高く振りかざし、気合いをかけて火を渡る。ノリワラが、三回こごと、僧侶、籠もり人、一般人が、それに続く。火を渡ると一年中病気にかからないといい、「やめ」の合図が出るまで続く。火つるぎは、身を清める儀式であり、火は神降臨の憑依とも考えられる。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯館村教育委員会	電話0244-42-1611	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	

	職 業		
団 体	団体名（ふりがな）		
	代表者氏名（ふりがな）		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード

<火つるぎ>



(飯舘村 井村 寛氏提供)




(飯舘村教育委員会)